

ワークショップだより

Vol.3(平成 25 年 10 月) 発行:東浦町建設部都市計画課



第3回ワークショップでは、「よい景観」「大切にしたい景観」と考える現場に行きました。

東浦町でも各地区で秋の祭礼がおこなわれています。食べ物もおいしい季節になっていますが、みなさまにおかれましてはいかがお過ごしでしょうか。

「東浦町景観計画策定のワークショップ」は、10月5日に第3回目を開催しました。

今回は、第2回でグループごとに出していただいた東浦町の「よい景観」「大切にしたい景観」を、現場に見に行きました。東浦町内といえども、初めて行った場所、初めて見た景観も多く、参加者のみなさんは、東浦の景観の多様さを改めて認識されたようでした。

<Aグループが見学した場所>

- 衣ヶ浦藤江越し跡（藤江） ○村木神社（森岡）
- 緒川界わい散策（入海神社・傳宗院・東光寺・了願寺・緒川城址など）



衣ヶ浦藤江越し跡



森岡の村木神社



緒川の町並み（入海神社の通り）



緒川の路地（入海神社の裏あたり）



緒川の町並み（字屋敷区あたり）



緒川城址

<Bグループが見学した場所>

- 寿地区（緒川） ○森岡界わい・緒川界わい（車窓から） ○国道 366 号バイパスの眺め
- 大生紡績旧女子寮・伊久智神社界わい（生路） ○藤江界わい（大蔵屋周辺）



寿地区から北部中学校方面の眺め



国道 366 号バイパスからの眺め



生路の大生紡績旧女子寮



伊久智神社（境内と大楠の森）



藤江の須賀川



藤江の大蔵屋（字松本あたり）

<参加者のみなさんの主な感想・ご意見（抜粋）>

- ・車で通りすぎるのではなく、歩いて見てみると改めて良さを感じる。
- ・景観を守る場所を決めないとどんどん消えていきそう。
- ・残さなくてはならない大事なものがたくさんあると思った。
- ・古い家、細い道など意外と情緒ある。
- ・景観の良さを共有するため、フォトコンテスト等を企画してPRしたらどうか。
- ・村木神社の石垣が木の根の影響で崩れかけていることが心配。
- ・緒川界わいで廃墟が増加している点が気になった。
- ・緒川城址について何か活用できないか。
- ・北部中方向の眺望は良いが、開発がされると景観が損なわれてしまうのではと心配。
- ・伊久智神社は、日ごろの手入れが行き届いていると思う。大楠は是非残していきたい。
- ・大生紡績の2階建女子寮の建物は、歴史遺産として移築、保全が考えられないか。
- ・紡績業の遺構を保存するための活動ができないか。町として記念館とするとか。
- ・藤江越し跡に廃船が数隻放置されている点が気になった。
- ・通過者にとっての良否よりも、地域住民としての視点が大切だと思う。

第4回では、参加者のご意見や住民アンケートの結果などから、東浦町の景観資源マップをつくとともに、東浦町の景観形成の基本方針をみなさんと考えます。

<<次回の予定>>

【第4回ワークショップ】

10月26日（土曜日）10時から12時 東浦町役場西会議室
「景観資源マップをつくる」「景観形成の基本方針を考える」

